青山学院女子短期大学同窓会会報

第52 秋号 2026

「主はわが光、わが救い。私は誰を恐れよう。
主はわが命の砦。私は誰におののくことがあろう。」
詩編27章1節（ダビデの詩）

受け継がれた志を未来へ

26期会長　51C　安西　彰子

5月16日、第52回定期総会が短大礼拝堂において開催されました。

総会は礼拝をもって始まり、パイプオルガンの演奏、讃美歌、同窓生によるお祈りに身の引き締まる思いでした。河見誠元短大学長、紀正尚校友会会長を来賓としてお迎えし、同窓会活動に対する温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



まず皆さまにお伝えしたいのは、会報の送付方法を変更したことについてです。今年度より年会費を納入してくださっている会員の皆さまへ会報をお送りしております。また、年会費につきましてもWebでも納入できるようになりました。お陰さまで前年度より約750口納入数が増えました。持続可能な同窓会運営のため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、会報はホームページでもご覧いただけます。これからも、活動、運営の見直しが必要となることもあるかと思いますが、その際にはできる限り速やかに皆さまへお知らせしてまいります。

5月末からは、各地で支部総会が開催されました。毎年、旧友との再会を楽しみに多くの同窓生が参加され、その温かな交流の輪に同窓会の大切な役割を感じております。

今年度もジェンダー研究センターによる卒業生への聞き取り調査が行われており、各支部総会には旧短大の先生方が参加され、ご講演もいただいております。河見先生がお話しくださった、短大の礎を築かれたドーラ・E・スクーンメーカー宣教師のお話が大変印象深く、心に残りました。限られた期間の中で女子教育に情熱を注がれたその志は、形を変えながらも同窓生一人ひとりの心の中に受け継がれているのではないでしょうか。



短大が閉学し、新入会員を迎えることはできなくなりました。しかし、学科会や支部活動、事業部活動を通じて育まれるつながりは、今も変わらず続いています。それぞれが仕事や子育て、介護など人生のさまざまな課題に向き合う中にあっても、青山学院女子短期大学で学んだ日々が心の支えとなり、前に進む力となっていることを感じます。

これからの同窓会のあり方を皆さまとともに考えながら、大切なつながりを次の世代へつないでいきたいと思います。

主な内容

頁
- 巻頭文…… 1
- 総会報告…… 2～4
- 支部だより…… 5～8
- 学科会…… 9～15
- 学科会行事に参加して……16
- クリスマス礼拝案内……17
- シオン寮跡地の今……17
- 訃報……18
- 事業部所属団体紹介……18
- 同窓生スクランブル……19
- 運営委員会……20

同窓会クリスマス礼拝

日時　12月12日（土）
　　10時30分～11時30分
場所　短大礼拝堂

詳細は17ページをご覧ください。

同窓会会長選出について

同窓会第26期運営委員会は、2027年3月31日で終了します。同窓会会則第十一条により、次期同窓会会長の選出を行います。つきましては、会員の皆さまに会長候補者のご推薦をお願い申し上げます。なお、同窓会細則第五条により会長候補者は会員2名以上の推薦により選出され、推薦にあたっては候補者本人の意思の確認を行うと定められております。会長候補者を推薦する場合は、候補者の意思確認の上、会長候補者氏名及び推薦者2名以上の氏名を記載した所定の書面により11月末日までに選挙管理委員会までお届けください。お問合せは同窓会室まで。